

毎週日曜発行
2024 4/21

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

より良い世界をつくるためには

ニュース

こども記者が参加



みんなは地球の未来について考えたことがあるかな？ 東京都内で3月27日、全国12の新聞社のこども記者が集い、第7回こども新聞サミット(実行委員会主催)が開かれました。より良い世界をつくるために何ができるだろう。小学生18人が意見を交わしました。

(8面に関連記事)

こども新聞週刊がほピョンプレスから、宮城県松島町松島五小6年の田多野莉乃さん(11)と石巻市大谷地小6年の永沼好将さん(11)が参加しました。



18人は「国際理解を深めるためには」「人手不足」「地球を守るために私たちができること」

きょうのテーマ

みんな思い出

人手不足に理解深める

の3チームに分かれ、それぞれ事前に取材したことを報告し、提言を発表しました。

3新聞社の計5人と「人手不足」について、理解を深めました。2人は若手漁師を増やす事業に力を入れる石巻市の団体「フィッシュヤ



人手不足を解消する新しい技術を応援しよう
働く人たちの環境を良くしよう
少子化を解決するために子どもを育てやすい社会をつくろう

提言を発表する田多野さん(中央)と永沼さん(左から4人目)

3月27日、東京都内

ーマン・ジャパン(FJ)」と、FJの活動を通しノリ漁師になった磯島雄大さん取材したことを紹介しました。

田多野さんは「若い人をサポートし、安心して働ける環境を整えることが漁師を増やすのに役立っている」、永沼さんは「海や求人情報を発信し、やってみたい人をつなぐことが大切ではないか」と訴えました。他のメンバーはIT技術を使ったトマト栽培やロボットを活用した米作り、自動運転バスを取材しました。



チームとして①人手不足を解消する新しい技術を応援する②働く人たちの環境を良くする③少子化を解決するために子どもを育てやすい社会にするの三つの提言をまとめました。

他のチームは「自分と相手、どちらの意見も大事にしよう」「めんどくさいにサヨナラ」などを提案しました。

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇27日(土) 駅伝を初めて開催
1917年のこの日、京都から東京までの約500キロを23区間に分けて走る「東海道駅伝徒歩競争」が開かれました。たすきを手渡しする日本独自の競技で、名前は古代の交通制度「駅制・伝馬制」にちなみます。

この日の紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 第7回こども新聞サミット